

学校教育目標

意欲に燃え、自ら学ぶ生徒【自学力】

規律を守り、責任を果たす生徒【責任感】

剛健で、実践力のある生徒【実践力】

## 収穫の秋を終え、今蓄える新年への糧 ～ 自己を磨き、地域を盛り上げ、躍進へと～

8月19日からスタートした2学期もいよいよ終わりを迎えました。授業日数87日、残暑の厳しい始まりでしたが、二戸まつりを盛り上げ、地区新人戦を戦い抜き、秋の訪れとともにスポーツの秋、文化の秋、読書の秋にいそしみ、多くの成果を残してきました。

**スポーツの秋** 地区新人大会後も、さまざまな大会での活躍が報告されました。県大会剣道女子の準優勝を筆頭に、県のレベルに多くの選手が挑みました。

**文化の秋** 三葉祭の合唱コンクール、教科展示、三葉祭 WEEK の発表等、いろいろなジャンルの文化に触れ親しみました。絵画・書写の入選者も多数います。

**読書の秋** 毎朝の読書の積み重ねで、ある学級の1か月の平均読書冊数は3冊でした。活字離れが進む中で貴重な時間の積み重ねです。

各種コンクールに積極的に応募した結果、多くの生徒が表彰されるとともに学校への感謝状が2団体から届きました。これも日頃の努力の積み重ねの成果と捉えます。

## 全校に問う「当たり前」とは何か？

日常生活の  
**当たり前**を  
大切にしよう

### 「日常の当たり前を大切にしよう」

この言葉は、後期生徒総会資料で「生活委員会」が使った表現です。この他にも資料の中には「当たり前」という言葉が、何度か登場しました。

では、「日常の当たり前」とは何でしょうか？

11月の朝会で、全校生徒に投げかけました。

そして、職員会議でも……。おそらく、先生方一人ひとりが考える「当たり前」も異なるのかもしれない。

れません。この機会に、ぜひ、みんなで話し合ってもらいたいと生徒にも先生方にも伝えました。

いち早く、この問いについて考えたのが3学代です。

3学年では、学年で話し合った「当たり前」を実行するための具体的な取組を考え、卒業に向けて毎日実践し、満開の花びらへと近づいています。

1・2年生は、進級に向けて3学期にこのことに取り組むことと思いますので、ぜひ、みなさんにとっての大事な「当たり前」とは何かをしっかりと話し合い、「当たりのことを当たり前にする」福中生徒会を築いてほしいと思います。

仕事で成功する人は、「当たりのことを当たり前にする人」と書かれた本を読んだことがあります。親のしつけや日々の学校生活が大切なようです。一方で、多様性を認める開かれた社会において、「当たり前の考え方が変化しているようです。学校では、高校に進学したとき、社会に出たときに、子どもたちが困らないように大事なマナーを身につけさせたいと考え指導しています。ご家庭でも話題にしてみてください。

### ・百花繚乱PJ

卒業までの3か月間、

学年全員でできる  
当たりの行動を増やし、桜の花を  
咲かせていく。



# 「理想の学校像・生徒像」の実現に向けて

2学期には新しいリーダーが誕生し、理想の学校像・生徒像の実現に向けて頑張っています。

今年の生徒会リーダー研は、12月6日から2週間にわたって「校長講話①②」「JRC講話」「応援団特訓体験」「特設合唱部体験」と複数の講話と体験活動を行いました。リーダーとしてあるべき姿、理想の学校像・生徒像の実現、福中三大文化のこれからなど、意欲に満ちた感想に今後の活躍が楽しみです。

今年の応援団冬季特訓は、12月2日の開講式を皮切りに、朝の特訓を開始しました。息も白い寒さの中、3年生の指導を受けながら班ごとに声出し、手振り等を一生懸命に頑張っています。時代の流れとともに特訓スタイルは変わってきましたが、先輩から脈々と受け継がれてきた精神は、今も息づいています。全員が認証されることを期待しています。



真のリーダーを目指して頑張っている仲間を、みんなで応援しましょう。そして、「共に語らん未来を見つめ あゝ理想も高きわが生徒会」を築いていきましょう

## 福中の理想像実現に向かって、今取り組んでいることの価値

～ Tシャツ・スラックス導入から福中の未来を考える!! ～

社会の変化に伴い校則を見直すことが求められています。今年度本校では、生徒と先生方とで、服装等の変更について協議しました。話し合いを重ねていく中で、変更が必要なものとそうでないものを精査し、新旧両生徒会長が代表して「Tシャツの色・生地・形の変更」「スラックスの選択制」について校長に要望の説明をしました。

変更の理由は、猛暑が続き熱中症対策が重要であること、時代の要請で多様性やジェンダー、マイノリティ等の多様な価値観を大切にするという観点からという説明でした。回答は全校朝会で伝えることとし、「変更することで心配されることはないか」と質問したところ、「いくつかあります」が今後しっかりと話し合いをして、全校生徒が集まる「きまり集会」の場で確認すると力強く答えてくれました。また、多様性やLGBTについて学ぶ機会があったほうが良いと付け加えました。

数日後の全校朝会で新旧両生徒会長からの説明内容を紹介し、「変更を認めます」と回答を伝えました。

その際、物事を変えようとするときには、今回のように「根拠を明確にして説明すること」「変更したときにどんな影響が出るのか」「影響について事前・事後にどう対処するのか」等をしっかりと話し合ってから要望を出してほしいと述べました。生徒会を中心に何度も話し合いをもち、合意形成を図りながら物事に取り組む姿は、まさに、「理想の福中像」と言えます。引き続き今後の話し合いを期待しています。

### 理想の福中像

- ❖ 全校生徒が、考え、話し合い、行動できる学校
- ❖ 互いに尊重し合い、ともに高め合うことができる学校

## 1年の計は元旦にあり 🌱

早いもので今年も1週間を残すのみとなりました。皆さんにとってどんな1年だったでしょうか。学年閉鎖措置が一部ありましたが、年間計画通りに教育活動を推進することができました。日々の学習や行事・体験活動等を通して、「知識・技能」を身につけ「活用（思考・判断・表現）」する力、人間関係形成・合意形成の力が育っていることを願っています。ことわざに「1年の計は元旦にあり」とあります。年頭に今年の目標を定め決意を新たにすることが大切という意味です。また、来年の巳年は「成長・変革の年」とも言われます。今年を振り返り、元旦には新たな目標や決意を掲げてみましょう。

保護者の皆様には、本年中の学校に対するご理解とご支援に感謝を申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください。